

The background features a vibrant, abstract depiction of flames in shades of orange, red, and yellow. Overlaid on the right side is a white outline of a dove, a symbol of the Holy Spirit, facing left. The text is centered in a bold, dark red font.

# ペンテコステに 聖霊を学ぶ

# アウトライン

- I. ペンテコステとは？
- II. 幕屋を建て上げた聖霊の賜物
- III. 教会を建て上げる聖霊の賜物
- IV. まとめと適用

キリストのからだなる教会の  
一部である私の働きを覚えよう



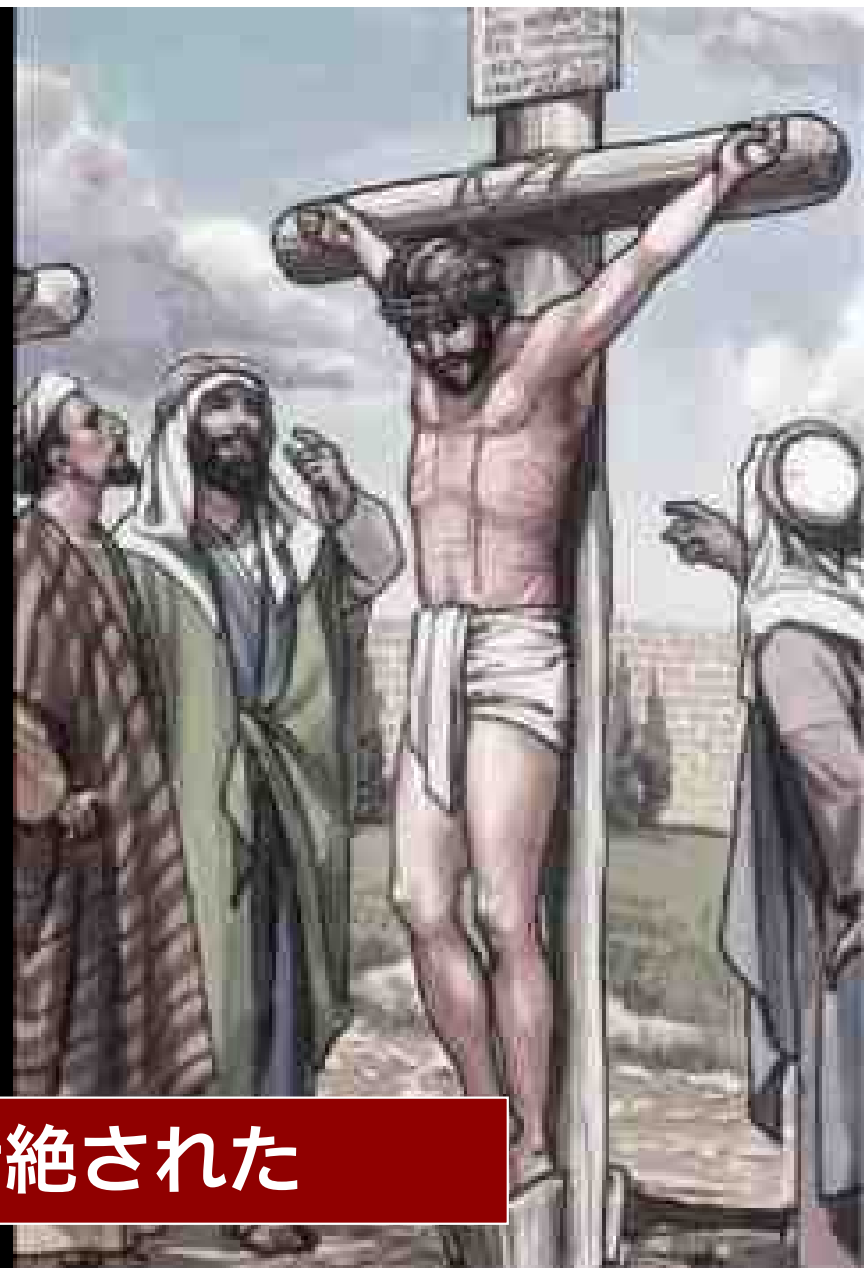


## 1. ペンテコステとは？

## メシアの十字架の死

- イエス・キリストは、罪なき身で捕らえられ、十字架にかけられた。
- 人々は、イエスを嘲り、罵った。
- イエスは、神の怒りの盃を飲み干した。全地が闇に覆われた。

メシアは父なる神から断絶された



## メシアの十字架の死

### ■ 十字架で、イエスは叫んだ

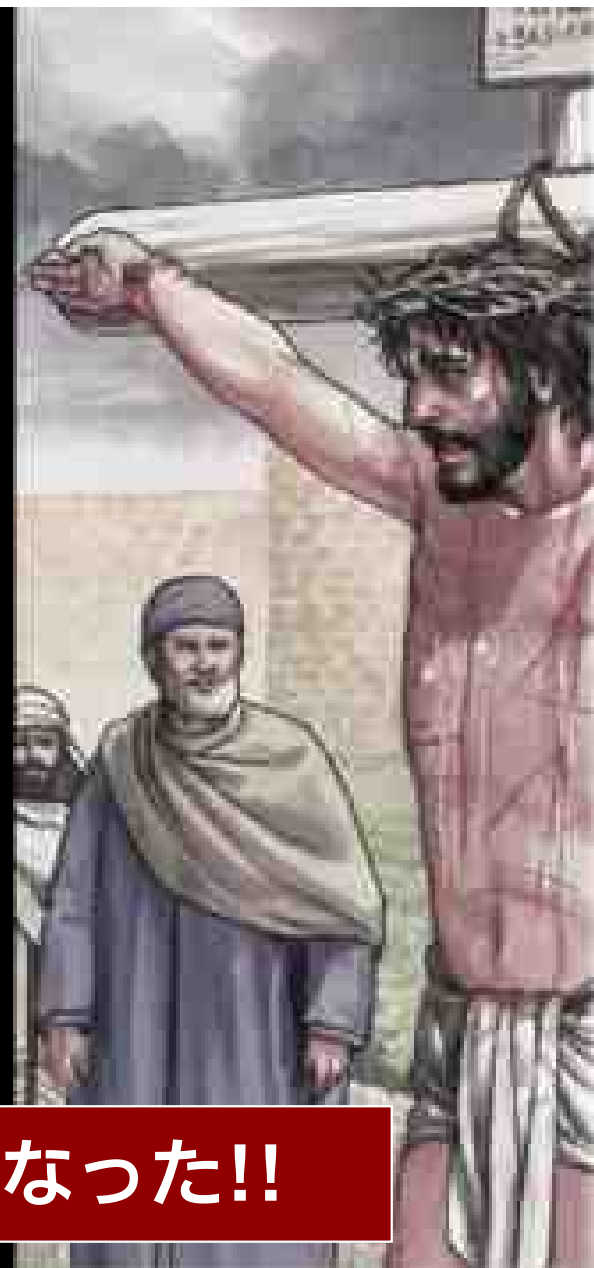
「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」

### ■ 隣で十字架にかけられていた犯罪人は、

イエスをメシアと信じ、救いを保証された。

「あなたは、今日、わたしと共にパラダイスにいる」

**メシアが私たちの罪の身代わりとなった!!**



## メシアの葬り

- イエスは、最後に「成し遂げられた」と言って息をひきとった。
- イエスの遺体は、墓に葬られた。

メシアは死んで葬られた



## メシアの復活

- 三日目。弟子の女たちが墓へ行くと、墓はからっぽだった。
- 天使があらわれて言った。「イエスは、ここにはおられません。言われた通り、**復活**されたのです。」
- **復活**したイエスは、他の弟子たちの前にもあらわれた。



メシアは復活された!!

## メシアの復活



- **復活**したイエスは、最後の教えを伝え終えた後、**昇天**された。「行って、すべての人をわたしの弟子にしてください」と、弟子たちに命じられて。

復活したメシアは天に昇られた!!





## ペンテコステ・聖霊降臨

- メシア昇の天から10日後、エルサレムで祈っていた使徒たちに**聖霊**がくださった。
- ペテロは、立ち上がって人々に告げた。「あなたがたが十字架で殺したイエスが、メシアなのです」
- 悔い改めた3千人が、イエスを信じた。こうしてキリストの教会が生まれた。  
→ 教会とは、信じた者たちのこと。



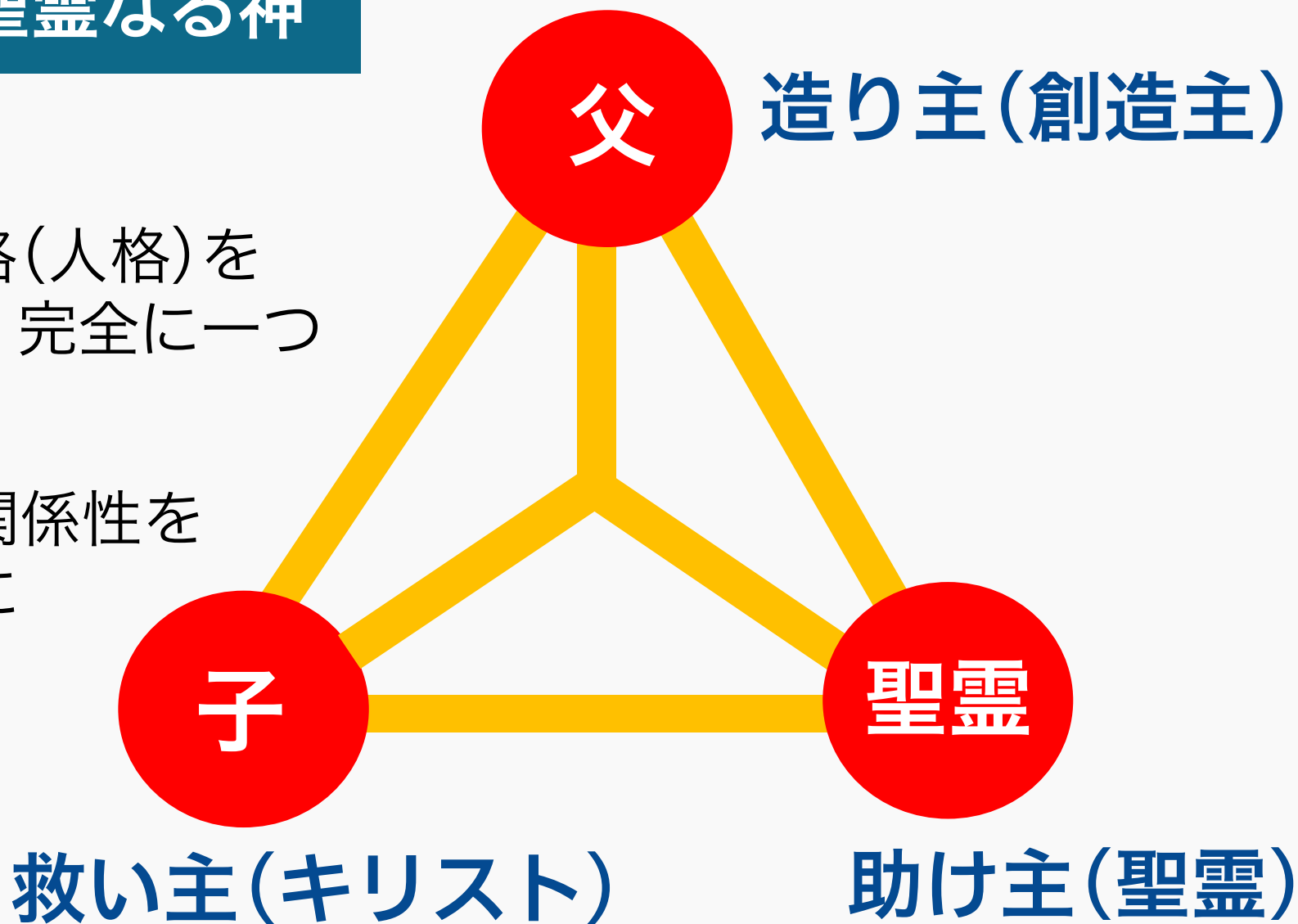
**聖霊が降り、  
教会が誕生した!!**

# 三位一体・聖霊なる神

## 【三位一体】

独立した位格(人格)を  
持ちながら、完全に一つ

愛の神は、  
完全な愛の関係性を  
ご自身の内に  
持っている。



## 教会時代の聖霊の働き

- ① 聖霊は、福音を信じた人の内に住む。
  - ② 聖霊は、聖書の理解を助ける。
  - ③ 聖霊は、神に従う者に、働く力を与える。
- 聖霊が、一人の信者を成長させ、建て上げ、  
**一つのキリストのからだ**である  
**ただ一つの教会**を建て上げられる。



教会の建て上げが  
聖霊の最大の働き

# 教会時代 ≡ 恵みの時代

## 【教会時代】

聖霊降臨 → 携挙まで

## 【恵みの時代】

メシア拒否 → メシア受容まで  
(ベルゼブル論争) (民族的回心)

※地上の視点では、ちょっと違うが、  
神の目には一つのこと



同じと捉えて問題ない!!



## II. 幕屋を建て上げた聖霊の賜物

## イスラエルと律法と幕屋

- 神は、アブラハムの子孫イスラエルをエジプトの奴隷から救い出された。
- 神は、イスラエルと契約を結び、神の国民とされ、**律法**を授けた。
  - **律法**は、神の民を訓練し、導く指針。
- **律法**でまず命じられたのは、神が住まわれる**幕屋**を建設することだった。



## 幕屋の役割

- 幕屋は、**神の栄光**が宿る場所。  
イスラエルの神がおられる、臨在を示す。
- アダムが罪を犯して以来、地上を去った**神の栄光**が、限定的とはいえ、宿るところ。
- 神に近づくためには、神の指定する方法によらなければならない。  
→ 律法に幕屋建築の詳細が示された。



## 幕屋建設者の選出

- 神は、幕屋建設の責任者ベツアルエルに、「知恵と英知と知識とあらゆる務めにおいて、**神の霊**を満たした。出エジプト記31:1」
- 神は優れた職人たちを選出され、**聖霊**の力を与えられた。  
→幕屋建設のための期間限定!!
- 旧約時代の**聖霊**の働きは、**限られた人に、限られた期間**だけ、現れた。





## 幕屋の建設

### 出エジプト記35章

- イスラエルの民は心から喜んで、幕屋建築の材をささげ、働きを担った。
  - ➔ エジプト脱出の際に与えられたものが、幕屋の建材に!! 建材すら神の賜物。
- ある者は材をささげ、ある者は労力を提供。イスラエルの一人一人が、自分にできる精一杯の奉仕をし、幕屋は建て上げられた。



## 幕屋の完成

## 出エジプト記40章

- 律法を通して主に命じられた通り、イスラエルが幕屋を建て上げた時、幕屋に**神の栄光**が臨在された。
- 約束の地へ向かうイスラエルの荒野の旅を、幕屋に住まわれる神が守り、導かれた。
- エルサレムに神殿が建設されて以降は、神殿に**神の栄光**が宿った。



## 幕屋建築に現れた聖霊の働き

- ①選ばれた職人たちには、元々能力があった。
- ②聖霊の力が与えられ、  
職人たちは、**能力以上の働き**を行った。
- ③幕屋建設の**期間限定**で、聖霊が働かれた。





### Ⅲ. 教会を建て上げる聖霊の賜物

# 教会とは？

①**普遍的教会** …福音を信じたすべての信者のこと  
(聖霊降臨から携挙まで)

➔キリストのからだは一つ

②**地域教会** …地上にある信者の集い  
(真の信者も偽の信者も混在)

■**普遍的教会**の建て上げこそ、教会時代最大の目的。

**教会**の完成 ➔携挙 ➔大患難 ➔神の王国



## 福音を信じた者に起こったこと

※大前提…**聖霊**の助けによって福音を信じるに至った

- ①新しく生まれ変わった(**新生**)
- ②**聖霊**が内に住まわれた(**内住**)
- ③**聖霊**に**バプテスマ**され、普遍的教会の一員とされた
- ④**聖霊**の**証印**が押された(永遠の救いの保証)



## 聖霊により、神の宮とされている

「あなたがたは、自分が**神の宮**であり、神の御霊が自分のうちに住んでおられることを知らないのですか。 | コリ 3:16」

## 教会時代の宮の建て上げ

### ① 普遍的教会の建て上げ

…福音を信じる者が起こされていく

福音宣教

### ② 一人の信者の建て上げ

…信者が**聖霊の宮**として成長させられていく

聖化

■ **聖霊**が働きかけられて、信じる者を起こし(**普遍的教会**)

**聖霊**が働き続けられて、信じた者(**神の宮**)を成長させていく

## 神の宮を建て上げる・聖霊の満たし

「また、ぶどう酒に酔ってはいけません\*。そこには放蕩があるからです。むしろ、御霊に満たされなさい\*。エペソ5:18」

\* 聖餐にも用いられるぶどう酒だが、酩酊は禁じられている。

→ 酩酊は、欲望に支配された、典型的な罪の状態。

\* “満たされ続けなさい”…現在形の命令。位置的真理ではない。

■ 内住される**聖霊**に、閉ざされた心の領域を明け渡していく。

**聖霊**に満たされるほどに、信者は成長させられていく。



## 普遍的教会を建て上げる・聖霊の賜物

■ **聖霊の賜物** = “カリスマ(恵み)”

福音を信じた**すべての信者**に与えられた賜物

■ キリストの体の一部である一人に与えられた、固有の働き。  
働きを担わない器官はない。聖霊の賜物のない信者はいない。

■ **信者にのみ**与えられ、**教会に仕えるために**用いられる。  
世の中一般で言う才能とは、まったく別物。

## 聖霊の賜物の特徴

- ① キリストが与えた、**教会を建て上げるための賜物**(エペ4:11)
- ② 聖霊により**御心のままに**教会に与えられた(1コリ12:11,18)
- ③ **信じた瞬間に**与えられた(1コリ12:13)
- ④ **すべての信者に**与えられている(ロマ12:6他)
- ⑤ **すべての賜物を**与えられたのは、**普遍的教会のみ**  
→ 各地域教会の賜物は、働きや成長に応じて部分的



#### IV. まとめと適用

キリストのからだなる教会の一部である私の働きを覚えよう

## ペンテコステの本質をつかもう

- 炎、風の音、弟子たちが語った知らないはずの異国の言葉…。
  - これらは、使徒たちの言葉の正しさの**証明・しるし**
  - 重要なのは、語られた**神の言葉**・使徒が宣言した内容。
- 聖霊がペテロに語らせ、聖霊が内容を保証されたこと(使2章)
  - ① 世の終わりに向かう、**教会時代**(恵みの時代)が始まった!!
  - ② 世の終わりの大患難に、イスラエルは**民族的回心**に至る。
  - ③ 再臨のメシアが裁き主として来られる前に、**福音を信じよ!!**

応答し、福音を信じた者たちによって、**教会が誕生!!**

## 聖霊の働きの本質を押さえよう

- 体験や感覚に惑わされると、本質を容易に見失う。
  - ➔ 聖霊の働きを覚えるために必要なのは、**正しい聖書理解**
  - ➔ 聖霊の最大の働きは、**御言葉の理解**を助けること
- 聖霊の満たし、聖霊の油注ぎは、信者の霊的成長に伴うこと。
  - ➔ 体験を追いかけても人は成長しない
  - ➔ 求められるのは、具体的な働きを担っていくこと

**聖霊体験という特別ボーナスを追いかけない!!**  
**大切なのは日々の地道な働き 結果は恵みの報酬**

## 教会の建て上げのための聖霊の賜物

「それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。

「ペテ 4:10」

- ① 誰もがそれぞれ、**最低一つ**は、聖霊の賜物を与えられている
- ② 聖霊の賜物は、**信者(教会)の間で**、互いに行使される。
- ③ 信者は、良い管理者として仕え合い、  
**愛の動機**から、賜物を行使する。

## キリストのからだ・教会

「**①一つのからだ**には **②多くの器官**があり、しかも、すべての器官が同じ働きをしてはいないように、大勢いる私たちも、キリストにあって一つのからだであり、一人ひとりとは **③互いに器官**なのです。ロマ12:4～5」

- ①一体性** …同じ一つのキリストの体に属している
- ②多様性** …信者一人一人に、異なった働きがある
- ③調和** …互いにいたわりあう愛の内に用いられる

## 聖霊の賜物・19 多様性を知っておこう

- 新約聖書の啓示が完成するまでの、**時限的賜物**  
…預言、使徒
- 神の直接的な介入による、**限定的な賜物**  
…いやし、奇跡、霊を見分ける、異言、異言を解き明かす
- **すべての信者が**、必ず一つは与えられている賜物  
…奉仕、教える、勧める、分け与える、指導(管理)する、  
慈善、伝道者、牧師・教師、独身、知恵のことば(適用力)、  
知識のことば(霊的知識)、信仰



## 聖霊の賜物を発揮するために必要なこと

- 聖霊の賜物は、すべての信者に与えられている。  
しかし、自動的に働くわけではない。無自覚な人も多い。
- ① 普遍的な教会・キリストのからだの一部という自覚を持つ  
→ 聖書的世界観、歴史観に立った、体系的な聖書の学び
- ② 地域教会・顔を合わせた具体的な関係性の中に身を置く  
→ ごまかしや偽りのない主の家族としての関係性を持つ

## ★ 聖霊の賜物を発揮する信仰生涯を!! ★

- ① 普遍的教会の意識をもって、地域教会に積極的に関わろう。  
聖霊の賜物は、互いに仕え合う交わりの中で発見されていく。
  - ② 自分で決めつけず、聖霊の賜物を発見する努力をしよう。  
発見は常に働きのただ中。他の兄弟姉妹の視点が重要。
- 自分の心の深い領域まで聖霊に明け渡し、用いられて行こう。

**神の宮である自分を建て上げる小さなことが、  
普遍的教会の建て上げにつながっている!!**

てん とう つみ  
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ  
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ  
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん  
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

わたし うち す せいらい こころ ふか りょういき あ わた  
私の内に住まわれる聖霊に、心の深い領域までも明け渡します。

みたま わたし み わたし あた たまもの はっき  
御霊が私を満たし、私に与えられた賜物を発揮してくださいます。

ひと からだ ちい いちぶ きょうだいしまい つか あ  
一つのキリストの体の小さな一部として、兄弟姉妹と仕え合います。

よろこ しゅ もち つか もの  
喜んで主にささげ、用いられ、遣わされる者としてください。

しゅ な いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」